

～がんばってますか～

VOL.22 組合長です!



阿部組合長みずからが現場に出向き、組合員のみなさんとの膝を交えた対談で農業の今や地域の声、JAへの「直言」をお聞きしてエールを送ります!

(渡部) 女性がこれからJA運営などに参画するには、協同組合についての学習やさまざまな経験を積み上げていくことが大切だと思っています。また、女性がその能力を十分に発揮できる環境づくりも大切ですね。

(組合長) 現在、女性の参与3人から理事会に出席してもらっています。また、女性総代は14人います。

JAを運営する上で、特に生活部門などは女性のしなやかな感覚や考え方をに入れていかないと、行きづまる部分があります。また、女性の農業従事者が年々増えてきています。平成31年度はJA役員の改選期で、そこに女性理事の登用を考えていきたいと思っています。

(渡部) 最近、他のJAでは、女性の正組合員を集め、学習会をしていると日本農業新聞に掲載していました。

(組合長) そのような学習会は良い取り組みですね。私がJA青年部のときは、当時の組合長や総務課長を招き、JA経営について学習会を開いたものです。

(佐藤) JA女性部の課題は若い人からどうやって入ってもらうかです。研修や料理、手芸教室と活動していますが、根本的に何を目的としているのか。そ

こが腑に落ちないと、部員を誘うためにためらうときもあります。

(組合長) 女性部と青年部はJA内部組織で、JAが助成金を出して組織活動を支援しています。

以前は、農業が今より重労働で、組合員の生活自体も発展途上でしたので、女性の皆さんから生活改善運動の先頭に立って

こが腑に落ちないと、部員を誘うためにためらうときもあります。

(組合長) 女性部と青年部はJA内部組織で、JAが助成金を出して組織活動を支援しています。

以前は、農業が今より重労働で、組合員の生活自体も発展途上でしたので、女性の皆さんから生活改善運動の先頭に立って



JA庄内みどり女性部 平田支部 3役

渡部千佳子 支部長 (写真右上)
佐藤いね子 副支部長 (写真右下)
北川景子 副支部長 (写真左下)

平成29年度から現体制。支部部員数84名、今年度は野菜苗の配布、東根市にある女性起業の郷土料理レストラン「梅ヶ清水」などへの視察研修、料理教室、手芸教室(古ネクタイ利用ネックレス作り)、食育活動として親子料理教室も開催。2月には部員のつどいを開催し、部員の交流を図っている。

に適應し、変えるべきものは変えていくことが必要なのではないでしょうか。

(渡部) 昨夏、「庄内ひらた目ん玉夏まつり(JAまつりと共催)」に女性部として参加したのですが、子どもたちや若者もたくさん集まり、その賑わいに感激しました。地域で注目され

に適應し、変えるべきものは変えていくことが必要なのではないでしょうか。

(渡部) 昨夏、「庄内ひらた目ん玉夏まつり(JAまつりと共催)」に女性部として参加したのですが、子どもたちや若者もたくさん集まり、その賑わいに感激しました。地域で注目され

いました。今後、食育活動をもっと身近なものにしたいのですが、どうやって広げていけばいいでしょうか。

(組合長) 米粉は小麦アレルギー対策で小麦の代用品としてニーズがありますが、食育活動についてはレシピを作り実際に料理教室で教えている皆さんに意見を聞きたいですね。

(北川) 支部での活動は基本ですが、JA女性部全体として、多くの人にPRできる食育イベントなどがあると良いと思います。

(渡部) 食育活動だけでなく、6次産業化や高齢化福祉に取り組むグループなど、目的集団を作り、事務局、JAの担当課と連携しながら身近な課題にアプローチする方法もありますね。

(組合長) なるほど。JAは事業展開と地域貢献、それともう一つ大事なのが教育であると思います。後継者育成や食育、福祉など、青年部・女性部活動は教育の一端を担っていると云えます。時代に合った女性部らしい事業とは何か、自分達で自身を充実させることが大切ですね。

(渡部) 部員と事務局が互いにアンテナを高くして情報を集め知恵を出し合いながら、女性部活動を次代へつないでいきたいです。